

学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

生命工学部 生命栄養科学科（一種・栄養教諭）

① 教員養成の目標

栄養教諭免許状（一種）の取得条件は、管理栄養士養成課程修了で栄養士免許取得および管理栄養士免許取得が要件となるため、管理栄養士として必要な専門知識・技能・態度・コミュニケーション力を修得するとともに、常に新しい健康・食生活情報を収集し、エビデンスに基づいた分析・評価・判定のできる実践能力をもった学生の養成を目指している。

現在、児童・生徒の食を取り巻く問題点として、朝食欠食、偏食、肥満・痩身などがあげられ、望ましい食習慣の形成が大きな課題となっている。

そこで、「生きる力」を育む基礎となる「食に関する指導」の中核として、教育に関する資質と栄養に関する専門知識を併せ持つ栄養教諭の養成が目標である。そのためには、指導計画策定への参画、他の教職員との連携・協力・調整のできるコミュニケーションスキルを高め、率先力、指導力、探究力を持って行動できる栄養教諭の養成を目標とする。

② 教員養成の計画

管理栄養士養成課程および栄養教諭の教職課程のカリキュラムに基づいた単位を修得していくためには、体力・気力・知力が必要とされる。栄養教諭は「食育の専門家」として、社会的ニーズが高まっている背景について、大学1年次からしっかりと教育し、4年次まで自覚と責任を持って学んでいくことの重要性について、周知させていく。

③ 教員養成教育の質向上の取り組み

学校・家庭・地域の連携における「食のコーディネーター」として活動するための実践的指導力を身につけさせる。そのためには、「食について学ぶことの楽しさ」、「食べられた」という自己効力感などを児童・生徒が持てるような指導法、課題解決型学習による指導法、食行動変容ステージモデル（トランスセオレティカルモデル）に基づいた指導法を展開できるようにしていく。また、電子黒板、モバイルなどを授業に取り入れ、教育実習でもそれを活用させる学校もあることから、これらを活用した授業の取り組みも計画的に推進していき、栄養教諭としての資質向上に取り組んでいく。
